

うつのみやまちづくり市民会議 第1回合同会議 議事録

会議の名称	市民会議（第1回合同会議（第3回全体会） 生活環境分科会）
開催日時	平成18年10月12日（木）午後6時から8時
開催場所	宇都宮市役所 14階 大会議室
出席者	（市民委員）塩田会長，上田副会長，益田委員，大田委員，三宅委員，武井委員，赤塚委員 （庁内部会）中山，篠崎，戸室，岩本，鈴木，飯塚，高橋，大塚，中澤 （市事務局）
会議内容	・重点課題に関する意見交換 ・提案予定事業に関する意見交換
会議資料	1．重点課題対応シート 2．施策事業提案
発言者	発言内容
事務局	本日の進め方の説明，確認
各市民委員	（自己紹介）
市	（自己紹介）
市	（1）重点課題について （資料①説明）
市民委員	（資料②説明）
市民委員	庁内部会での検討の進め方はどうしているか。テーマは個別であるが，どのようにとりまとめているのか。
市	部会事務局が検討の進め方を示し，部会としてとりまとめている。
市民委員	課題を抽出する際に，4次総合計画の分野，柱と変わらないと思うが，どのように抽出しているのか。
市	分科会と同様に，SWOT分析から課題を抽出している。抽出の単位として，4次総合計画の柱を元に行っている。
市民委員	LRTは都市基盤整備が検討しているが，生活環境分科会での検討はどうす

	ればよいのか。
事務局	それぞれ切り口が違うため、どちらかのみ検討するのではなく、調整することになる。
市民委員	市の都市基盤部会との合同での検討をする必要がある場合、どのような形で検討ができるか。
市	今後合同での検討の場が設けられるかどうかについて検討したい。
市民委員	（２）提案予定事業について （資料②説明）
市	（公共交通について） ・都市基盤整備部会では、交通について３つの柱で検討している。 ・交通体系を整備し、移動しやすい体系を作るとというのが目的である ・このために、道路ネットワークを整備していくというのが柱となっている。 ・宇都宮では、市民に身近な公共交通はバスという認識がある。 ・鉄道については、JR 宇都宮駅を中心に、道路ネットワークが組まれていて、３つの環状線がある。駅を中心に放射状に伸びている 12 本の主要な道路がある。その道路上にバス交通が走っている。宇都宮市のバス系統は、166 あり、他自治体に比べて多い。周辺地域は、公共交通不便地域がある。バス交通に対して、国、県、市で赤字バスの補助をしている。このことにより、公共交通バスの運営を支援している。しかし減少している。 ・郊外に行くほど、バス路線同士の間隔が広がる。地域内交通をどうするかを地域住民の方々と協議している。 ・地域の中で作り上げていく交通を、少量輸送、中量輸送、大量輸送につなげていくということが次の目標である。 ・東西交通が弱いため、現在充実に向けて取組んでいる。
市民委員	・現在の宇都宮のバスは民間の３社に委ねられており、生活やまちづくりに根ざしたデザインを誰が担っているのか。路線の評価も民間に委ねられている。行政としては補助金として誘導しているのが現状である。 ・分科会としては、補助金誘導では立ち行かなくなるのではないかと考えている。まずビジョンをつくり、それを目指していくべきではないか。市営のバス運営等を考えていかなければならないのではないか。 ・まちづくりを見据えた公共交通のデザインが必要と分科会では考えてい

市	る。市としてはどう考えているか。 ・バス路線は、バス会社の経営判断に基づいている。 ・バス路線の拠点を駅にする必要がない場合もある。バス事業者や関係者と協議しながら、目標像を描いている。また、目標像を具現化するための活動が今後必要となる。 ・バス事業者との関係も、赤字補填だけでなく、交通ネットワーク形成に向けて協働するという段階に来ている。
市民委員	・交通政策課としての認識は理解できるが、部会としてどのような方向で考えているのかを聞きたい。 ・公共交通ネットワークについて市の方針を確認したい。コンパクトシティとして、公共交通ネットワーク形成において何をしなければならないのか。
市	・地域内交通については、地域住民の意見を伺い、地域住民の方々が主体になるような仕組にしたいと考えている。市としては、ネットワークの骨の部分を整備したい。地域内交通については地域住民の方々と一緒に作っていききたい。
市民委員	・そうすると、市民全体に対して平等なサービス展開はできない。そのためには合意形成が重要となる。また、まちづくりの全体デザインの中の交通ネットワークとしなければならない。
市	・ご指摘の通りであり、課題として認識している。
市民委員	・部会の課題認識、やるべきことは、ゼロベースではなく、出来ることが念頭にあった上で抽出されているのではないかと。また、横断的な課題認識が見られない。
市	・現状を知っている課が中心となって検討しているが、SWOT分析を用いてゼロベースで検討している。
市民委員	・意見交換が、部会と分科会ではなく、関係課とのやりとりになっている。生活環境を整備するために、部会としてどのような方向性を持っているのか、そこがまずなければならない。それに対して、現状は縦割り行政の弊害が出ているのではないかと。生活環境分野の方針が、各関係課のより集めになっているのではないかと。 ・部会が単なる調整機関ではなく、一まとまりとして取組むべきではない

	か。
市	・ 本日の課題資料は抽象的な表現になっており、検討過程や横断的な検討内容が見えづらくなっているが、部会としてゼロベースで検討している。
市民委員	・ 分科会では、安全で快適なまちづくりという大きなコンセプトで取り組んでいる。部会についても骨子を決めた上で取り組む必要があるのではないかな。 ・ 柱はあったのかな。
市	・ 関係課が集まり、それぞれに課題を抽出した。ボトムアップで検討しているため、全体方針は事後的に出てくることになる。横断的な課題については事務局で調整することとしている。重点化すべき課題についても今後検討する。
市	(「環境施策の個人レベルへの浸透」について) ・ 施策①ということで、家庭版 ISO 事業についてですが、認定比率向上等が書いてあるが、実際なかなか進んでいない。申込者に対して半数が認定されている。認定には、3ヶ月間電気をこまめに消す等の取組が求められる。必ずしも認定しなければならないということではない。認定比率は現状では低いとは思っていないが、イベント等で周知啓発していく必要がある。千人単位で認定件数を増やしていくことは中々難しい。 ・ 学校版 ISO については、平成 14 年度から開始しているが、学校全体で取り組んでもらっていたが、クラスや学年単位で取組むことを考えている。また、家庭版 ISO を学校を通じて浸透させていきたいと考えている。 ・ 課題は多い。
市民委員	・ これから問題解決していくために不明確なのは、家庭版 ISO 事業を何のためにやっているのかを知りたい。
市	・ 地球温暖化対策である。
市民委員	・ 家庭版 ISO は大変有意義と考えているが、現状では 500 家庭というのは件数が少ない。意欲が低いのではないかな。
部会	・ 当然増やしていきたいと考えているが、目標数を現在決めている段階である。

市民委員	・全ての施策に関係するが、家庭版 ISO を進めることで市民にどのようなメリットがあるのか。
市	・住民が快適な生活ができるというのがメリットである。
市民委員	・それだけでなく、市にとっても副産物として得られるものがある。ゴミの減量や廃棄物の減少がある。市民にメリットについて理解促進する機会が必要ではないか。 ・目的は、件数を増やすことなのか、別にあるのか。
市	・目標としては、100%としたいが、最終目標は、市民の意識を高めたい。
市民委員	・仮に 2 万世帯が取得すると、どのようなメリットがあるのか。ゴミの減量化によりコストダウンが図られたら、その分市民に還元するということができればやる気が出るのではないか。 ・学校版 ISO を取得した場合、取得校に取得したと分かるようにしてはどうか。 ・分科会としては、ISO 事業は大変意義があるけれども利用数が少ないという認識がある。ISO 事業に取り組むことによるメリット還元や、取得学校の PR など利用を増やすための戦略が必要と考えている。部会としては、普及の戦略論まで検討が及んでいないため、是非分科会でよい提案をして頂きたい。
市	(まちづくり統括機関について) ・都市自治部会では、施策作成、実行、評価まで市民協働を行うことを考えている。 ・市民の方々と一緒に問題解決をしていく、行政施策が十分でない部分については市民協働で行っていくことが求められる。
市	(景観意識の高揚について) ・景観評価機会を増やすということは、市内全体、農村部も含めて評価する基準を作ることが難しいと考えている。 ・景観の事前審議については、仕組はすでにある。分科会の提案は、それに強制力を持たせたいということと捉えている。 ・景観地区計画については、住民合意がなければ出来ない。市内全体に地区計画を広めていくために、市として現在検討している。 ・登録文化財制度については、外形的な構造について登録してもらう制度。これは、文化財所有者に対して規制がかかるものではない。文化財を残してもらうことによって景観整備につなげていきたい。PR について十

	分でないため、力を入れていく必要がある。
市民委員	都市景観に関する審議会が立上げられているが、景観改善のための取組の進度が遅いのではないかと考えられるのか。
市	景観に関する地区計画の策定等については、地域住民の合意形成が求められるため、すぐには進められない。
市	(住環境・コミュニティの整備について) ・課題を3つにまとめるに当たり、いろんな意見を含めて考えている。総合的に取組む必要がある。 ・分科会からの新規な提案を求めたい。
市民委員	・市民の意見を地区計画にどのように反映していくのか。やり方について教えて欲しい。
市	・合意形成が難しい。地権者との交渉が課題である。
市民委員	・「みんなでまちづくり会議」の位置づけについて教えて欲しい。
市	・市民協働推進計画の中に位置付けられる。協働推進計画を作っており、その進捗管理、評価が役割である。